

特定非営利活動法人
日本リザルツ

平成29年度 事業報告書

日本リザルツ
平成30年3月5日作成



12
DECEMBER

2017 年 12 月 01 日

WORLD AIDS DAY

Today, December 1, marks the World Aids Day. With that in mind, we appreciate the fact that most of the Aids patients stand a greater chance of co-infection if predisposed to condition for TB spread. We note, especially to the CHVs who will be attending the World Aids Day celebrations, to communicate the messages to them, especially when they speak to them at various tents in the stadium. I had written a short message to be given to the HIV patients, on how to prevent themselves from the infection of TB.

TB, when in the body of a patient with HIV, can easily kill the patient. It is, therefore, better to have prevention than taking medicine for too long to be cured of TB.

We have noted again that the introduction of the bicycles has increased the number of patients referred to the laboratory. However, we have detected a worrying trend, which I informed Mr. Shikanda about. Most of the patients take too long to be served, and their results are late. It is ideal that the lab technicians be informed of their work, very strictly. The quality of the bicycles has been praised, and it has encouraged access to many places. Over the last two months, the numbers have increased by 67 per month.

HIGH MORTALITY AMONG TB-HIV CO-INFECTED PATIENTS

In the CHV meeting today, we have learned that four patients who had both HIV and TB have passed away. This information comes at a time when the Kenya government has released statistics for 2016 which portray a very low survival rate for patients with co-infection.

Out of the 53,000 co-infected patients discovered last year, 24,000 died in what the MoH says was as a result of late diagnosis and treatment. In Kangemi alone, a total of nine co-infected patients have died in since 2016, a fact that confirms the high mortality rate among such patients. It has been advised that HIV programmes and TB programmes be held together, to facilitate the speedy diagnosis and treatment, hence reduce the worrying mortality rates.

In the meeting, I have informed Mr. Shikanda, the head of the Kangemi Health centre, to address the matter, as regards HIV and TB infection. Partners working around HIV should be ready to cooperate and refer the patients for TB testing, as a measure to improve early diagnosis.

ナイロビ カンゲミ地区での活動

CHV 月例報告会合(Kangemi Central, Gichagi A の 2 units)に出席した。報告会では皆さん一人一人が真剣に、近況報告から今後の目標を発表していた。



建設専門家

ケニアでの第2期事業が開始されたことで、検査所の建替え工事も具体化に向け進めていくことになる。その一つとして、日本から建設専門家に来ていただき、工事開始前の段階から、現地施工業者との協議、打ち合わせに加わってもらうことになった。勿論工事期間中は、建設現場に張りついていただき、進捗状況、適正な作業工程、材料の使用、安全管理等事細かに監視してもらい、必要に応じ注意、助言、交渉も行い、立派な建物が出来上がるよう期待している。既に、業者との契約書にも目を通され、助言をいただいている。出来るだけ事前のチェックで、問題点を解決し、又は問題が起きないように事前の策を取ることで、工事に着手していく。

2017年12月03日

運動靴の送付に関して

日本リザルツではまだまだ運動靴を集めている。全国紙で取り組みが掲載されたこともあり、問い合わせも増え、靴もどんどん寄せられている。最近、どうやって送ったらいいの？という質問が多いので、送付の仕方を改めて記載させていただく。

【注意点】

- きれいに洗った運動靴であること
- 上履きやバレエシューズは不可
- サイズに制限はない
- 送料はご自身で負担いただく

靴の詳細についてはこちらです。

◎対象シューズ

布製・人工革素材の運動靴あるいはスニーカー

靴ひもが切れていないこと

ソールがはがれていないこと

まだまだ使えて走り回れるもの

×対象外のもの

革靴（海上輸送の際、損傷の恐れがあるため）

スパイクなどがついたサッカーシューズ、ローラースケートなどがついたもの、破損しているもの、左右が違っているもの、ビーチサンダル、長ぐつ、上ばき

【お願い】

- ・お持ち頂くシューズは必ず洗っていただき、しっかりと乾燥させる。
- ・シューズの内側(左右ともに)油性マジックインキでサイズを明記する。
- ・透明、半透明のビニール袋に1足ずつ包む（図を参照）。

【発送先住所】

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-6-14 三久ビル503

日本リザルツ長坂苑



第三文明にエドワードさんのインタビュー掲載

今月号の第三文明に日本リザルツとスナノミ症抑止活動をともに行う、エドワードさんの記事が掲載された。エドワードさんはすなのみ村で活動が続ける NGO の代表で、弁護士。大きなインタビュー記事です！

GGG+フォーラムでは初来日を果たし、すなのみ村の現状を話された。



誰一人取り残さない社会（SDGs）を目指すためには、困っている人の声なき声を拾うことが重要だ。
すなのみ村の人たちが少しでも健やかに笑顔で暮らせる日が来ることを願っている。



CHV の新年度

30 日、1 日と第 2 期事業が開始されてから、初めての CHV 月例会合に出席してきた。前期終了後から約 3 カ月、実質的な支援を受けられなかった彼らだが、その間従来通りの活動が続けてくれたことには、深く感謝している。二日間で 4 つのユニット約 65 名が出席(仕事等の理由で来れない人もいる)、全体的に表情が明るく感じられた。開始時間の前から多くの CHV が席につき、世話役の Lilian が、その間全員一人一人に、改めて抱負や取り組みたいことなどを語らせた。

聞いている側から、その都度拍手や声が掛かり(多くは現地語のため意味は理解できなかったが、多分声援の声掛けだろう)、出席していた CHV の意気込みが、盛り上がっていく雰囲気を感じた。



また、今期は新たに計 100 名の CHV を養成していくことになる。この日月例会合に出席した CHV にとっては、後輩が入ってくるようなものかもしれないので、新人の面倒を見てくれるように頼んだ。今後は彼らの意気込みを萎ませないように、こちらも活動運営に取り組んでいかねばならない。また、この会で日本からの建設専門家として、藤波さんを紹介し、建替え工事にもより関心を持ってくれればと思った。

2017 年 12 月 04 日

アブエライシュ医師の広島講演

第三文明 1 月号にパレスチナ、ガザ地区の難民キャンプで生まれ、イスラエル初のパレスチナ人研修医としてイスラエル、パレスチナ人双方の治療に当たられたアブエライシュ医師の広島講演の記事が載っていた。

医師はイスラエル軍の砲撃で三人の娘さんと姪御さんを失ったにも拘らず憎しみを乗り越え、イスラエル人を含めた治療を続け、政治

的に分断に追いやられた地において医学を通じて平和の橋渡しをしていくことに尽力された。現在カナダのトロント大学で准教授を務める医師は今回の来日で広島市の教育関係者が主催する講演会に登壇し広島の地に立って感じた平和への思いを語った。



2017 年 12 月 05 日

【いつもありがとうございます】

夕刻息せき切って、相談室に来室した女の子から素敵なプレゼント。

『いつもありがとうございます』『いつもぬりえ、あめをくれたりしてありがとうございます』

笑顔がいっぱい詰まってる可愛いイラスト。

だけど・・・外は真っ暗なのに・・・？家に帰ってからこわかったけど頑張って走って、持ってきて

くれたそう。お礼を伝え、相談室に張ると女の子は照れくさそうな表情で、走って帰っていった。

思わず、涙がこぼれた、うれしいうれしいエピソード。こころが暖かくなった。



2017 年 12 月 06 日

タニタ訪問

6 日、タニタ食堂で有名なタニタヘルスリンクを訪問し、タニタで行っている事業内容や栄養に関する取り組みを紹介していただいた。

タニタの社員さんは、なんと会社の決まりで、皆さん体重を測るそうだ！



業務用の体重計に霞が関の魔法使いどもらもびっくりしていた。

【アンガーマネジメントについてお伝えしてきました】

社会福祉法人愛泉会 かまいしこども園にて、5 歳児を対象にアンガーマネジメントについての講座を開催させていただいた。

※個人情報保護および講座内容保護のため、講座中の写真や詳細については掲載いたしませんので、ご容赦ください。



- ① 怒ることは決して悪いことではないこと
- ② 心には色々な感情があること
- ③ 気持ちの変化のこと
- ④ 気持ちの落ち着け方
- ⑤ 気持ちの伝え方

以上について、1 ユニット 5～6 名としてグループ分けをし、実施した。視覚、聴覚、触覚を通じて、非言語的、体感的にアンガーマネジメントを伝えることで、児童のみなさんにも分かり易く、すんなりと受け容れてもらうことができた。風船を気持ちに例えて説明し『気持ちがいっぱい⇒パンクしてしまう』や『気持ちを落ち着かせる⇒ガスが抜けていく』などは、みなさんにもイメージしやすかったようだ。普段、故意に風船を萎ませる行為を見たことが少ないのか、風船が萎んでいく様に、みなさんは目を真ん丸にして驚きの表情を見せていた。

今後も釜石市内幼保施設等での講座開催を図り、釜石の皆様へ、アンガーマネジメントに限らず、こころや気持ちについてお伝えしていければと思っている。

2017 年 12 月 07 日

KANGEMI HEALTH CENTRE T.B CLINIC 現地視察

新しく建て替えをするカンゲミ地区 結核検査所の現場視察・現場調査へ行ってきた。

検査所を綺麗にする為に、一度解体をして検査所を作り直す。

工事を安全・正確に行える様に、検査所の設置場所・大きさ確認、資材搬入路・工事車両のスペースや作業スペース等を細かく確認をして、現地建設会社との打合せに備える様に調査を行った。



子どもグループ最終回

リザルツのHPのトップページに12月17日（日）の子どもグループについて、チラシをアップした。17日の子どもグループは最終回になる。このグループを開催できるのもクラウドファンディングで、皆さまに支えていただいたおかげだ。早くも最終回となったが、これからは何らかの形で、子どもへの直接の支援も行いたいと思っている。

靴の山(12月7日現在)

靴の山！（12月7日現在）

10か月前は...（2017年2月7日）



CHV TRAINING CONTENT REVISED

In line with efforts to give better training, to tackle emerging issues, we have revised the content of training of CHVs. In this year's training, we shall include a number of lessons which were not covered previously. We shall pay particular attention to the elimination of stigma, prompt action towards TB patients, accelerated access to TB information, and sustained community CHV partnerships. Much as Kangemi currently leads in the TB statistics in the laboratory, and the number of patients being treated, we are aware that there are many more not discovered. It would be pointless to treat people, and when they go home, they stand a risk of reinfection from patients who have not come for medication.

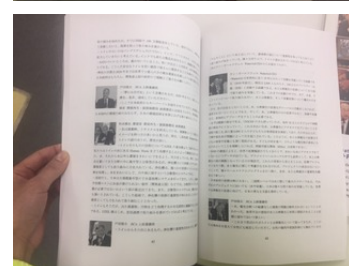
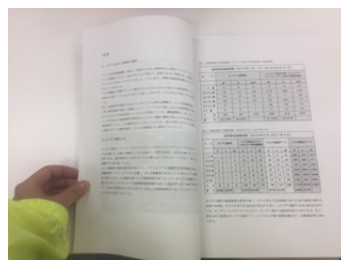


This focus shall be critical in this training. We shall ensure that the new CHVs work towards zero tolerance to TB. They shall make sure that they go to every house, and ensure no TB patients has not been attended to. Further, the CHVs must be at the forefront at eliminating stigma. This is the major reason why many people with Tb have not come out to be treated. It is our sincere dedication to this project that will bear fruit. Together with the Kenya team, I shall be at the forefront in working hard to ensure this happens, and we kick TB out of Kangemi.

2017 年 12 月 08 日

GGG+フォーラムの議事録と患者の声の製本化

GGG+フォーラムの議事録(日・英)と、ケニア結核患者さんの声を集めた冊子が、製本化された。デザイナーさん、翻訳ボランティアの皆さん、印刷業者さん多くの方のご協力をいただいた。



支援から自立へ

カンゲミスラム居住区での結核予防・啓発活動の支援事業も第2期が開始された。主たる事業となる結核検査所の建替え工事の許可を得るため、関係行政機関に出向き詳しい説明をする機会が幾つかあった。住民の健康管理、感染症予防に繋がる日本からの支援であり、当たり前のことだが、みな協力する姿勢を見せてくれる。ただ、いつまでも海外からの援助に頼っていては、自国の発展にならない。今年度は建替え工事以外にも、結核菌検査の優れた機器類の導入も予定している。

優れた機器類を自国で直ぐに生産することは出来ないが、結核をはじめ感染症対策として様々な試みが考えられると思う。既に取り組んでいることもある。保健省の諮問機関で、各セクターからの参加者が医療機器類などの導入を提案、それらを技術面から検討するなど、設備・機器などの改善を図っている。しかしこれらも自国で開発したものではない。科学の力を活用する前に、自前で取り組める方法があるような気がする。即効性はないが遅行でも着実にその効果が浸透すれば、何年か後には大きな成果を上げるかも知れない。空論の話ではなく実現可能な議論が出来ると期待したい。

2017年12月09日

検査所建替え工事

昨日カンゲミ・ヘルスセンターの結核検査所建替え工事について、施工業者、センター担当者、行政機関からナイロビ郡担当者が一同に会し、最終的な打合せ、確認を行った。全体の会合前に施工業者と建替える検査所の建物及び周りを見て回った。新規の建物(2階建て)は現在(平屋)の床面積より若干広くなるため、通路や他の構造物への影響、基礎土台となる柱の位置などを確認、図面上では掴めない事柄を現場でお互いに確かめることの大切さを知った。今回の工事には日本

から建設専門の方に来て
いただき、細かな事柄まで
チェックされてくれるの
は非常に有難い。

現在の検査所外観



検査場所と事務所スペースが一緒
(建替え後は完全に隔離される)

検査用試薬などの保管棚(スペースも広い保管部屋に)
数か月後には地域住民のための医療施設として、これまで以上
に有効で信頼される存在になるよう、工事に着手していきたい。



2017 年 12 月 10 日

シンポジウム「税と正義...」、盛況のうちに開催＞ハイライト動画と資料

12 月 3 日青山学院大学において「シンポジウム『税と正義／グローバル・タックスと税制改正』」が開催され、100 人が参加した。共催は、グローバル連帯税フォーラムと民間税制調査会。シンポジウムは、インターネットメディア・IWJ で中継されたが、このたびその一部がハイライトとして動画で掲載されたので、雰囲気的一端でも感じていただければ幸いだ。



＜シンポジウム開催の趣旨について＞

シンポジウム開催の趣旨につき、冒頭金子文夫・横浜市立大学名誉教授が以下のように述べられた。

「経済のグローバル化が進展するなかで、国内的にも世界的にも所得と資産の格差が広がり、不平等・不公正な社会が出現しており、パラダイス文書で明らかとなった多国籍企業や富裕層の目に余る租税回避を許すならば、格差の拡大は際限なく続く。格差を是正する公正な税制が、国内的にもグローバルな規模でも求められている。今必要なことは、税とは何か、税の正義（タックス・ジャスティス）とは何か、という原理的視点を改めて確認し、国内のおよびグローバルな規模での公正な税制の方向を明確にしていくことだ。

本日のシンポジウムでは、名古屋市立大学の伊藤先生には、政治哲学の立場から、税の正義について原理的・規範的な議論の提示をしていただく。北海道大学の津田さんからは、国際課税問題の最新の動向について、パラダイス文書と EU 金融取引税に絞って紹介していただく。まとめとして、青山学院大学の三木先生には、2018 年度税制改正をめぐる問題点について縦横無尽に語っていただく」。

1、プログラム

2、主催者挨拶：金子文夫・横浜市立大学名誉教授

3、講演

1) 「税の正義とグローバル・タックス」...伊藤恭彦・名古屋市立大学人文社会学部教授

2) 「グローバル・タックス・ジャスティスの検討―“パラダイス文書”と EU 金融取引税の観点から―」...津田久美子・北海道大学法学研究科博士課程 日本学術振興会特別研究員 DC

3) 「2018 年度税制改革を考える」...三木 義一・青山学院大学法学部教授

4、今後の活動について...田中 徹二・グローバル連帯税フォーラム代表理事

＜シンポジウムに対する感想・コメント＞

・普段は日常の仕事に追われてグローバルレベルで税のことを考えないが、それを考える時間をもったことが良かった。カントやアダム・スミスのことも勉強しないといけないと思った。

・3 名の先生方のお話は大変分かりやすく、抱えている課題についても理解が深まりました。伊藤先生の税の正義について考える事は非常に重要だと感じました。ここを考えずして税の話はできないと思います。貴重な会を有難うございます。

・2018 年度税制改革のことがとても理解できた。税の在り方はとても重要だと感じました。

・伊藤先生の話されるようなそもそも論は必要。タックスヘイブンの利用などの税回避行為は許

せない。それを防ぐ、法的、国際的システムの構築が急務。

・現在、税の富の再分配機能について論文を書いており、本日の講義を聞いて枝葉末節の話にならないよう、基本的なところをしっかりと押さえた内容にしなければならぬと感じました。大変参考になった。



2017 年 12 月 11 日

世界トイレ大革命会議を開催

12 月 12 日は UHC（ユニバーサルヘルスカバレッジ）デー。UHC デーで重要な要素の 1 つが、公衆衛生とトイレの改善だ。

11 日（月）、世界トイレ大革命会議を開催した。学术界をはじめとし、政府、国際機関、JICA、企業、NGO などさまざまなアクターが参加した。

ここで初めてお披露目になったのが、「水をきれいに」のクリアファイル。ミスタートイレ、ジャック・シム氏に加え、見覚えのある顔が、霞が関の魔法使いどーらだ。ミセス・トイレとして、世界トイレ大革命の推進に向けて、今後一層の活躍が期待される！



日本の知見を活かして、公衆衛生の改善と UHC が達成できる日が来ることを心から願っている。

2017 年 12 月 12 日

ケニア向けの靴

ケニアに送る靴は、まだまだ続々届いている。中にはこんなに可愛い靴もあった。



今、会議室は半分靴の山で埋まっており、近々、

長坂と篠田が靴の発送をエチオピア航空にお願いに行く予定だ。

ワン・プラネット・サミット前に、フランスが金融取引税推進を主張

パリ協定採択からちょうど2年目の12月12日（本日）、パリ近郊で「ワン・プラネット・サミット」が開催される。このサミットは主宰がフランス政府ということもあり（国連、世界銀行が共催）、日本ではあまり報道されていないが、時事通信は次のように伝えている。



「サミットには政府だけでなく企業やNGOなどから計約2000人の関係者が参加し（注：4000人参加との報道も）、温室効果ガスの抑制と経済成長を両立する方策を話し合う。河野太郎外相も出席し、日本の取り組みについて説明する見通しだ」（12月10日付「パリ協定推進へ環境サミット＝仏主催、米大統領招待せず」）。

このサミットの主な目的は気候変動対策資金の創出に向けての議論にあるようだ。11月に開催された気候変動枠組条約・COP23で、米トランプ大統領の「パリ協定」離脱表明を受けて、途上国支援のための資金問題で対立が目立ったことは記憶に新しいところだ。そこで気候変動問題に並ならぬ政治的意思を持っているフランスがこのサミットを機に「資金問題」でも国際的なイニシアティブを発揮しようとしているようだ。

●サミット前に仏政府4閣僚が欧州金融取引税を強く要求

この4閣僚とは、ブリュノ・ル・メール財務相とジャン＝イヴ・ル・ドリアン外務相、ニコラ・ユロ環境相、フレデリック・ヴィダル高等教育大臣だが、Le Journal du Dimanche紙に共同声明として掲載された。

骨子は、次の通り。フランスはすでに金融取引税を導入し（注：株式購入に0.2%課税、17年は0.3%に）、昨年は11億ユーロの税収を上げ、環境政策の資金として役立てている。政府は、この金融取引税を欧州連合（EU）規模に拡大し、気候変動対策のための資金調達に向け推進する方針である。EU規模の金融取引税は2020年までに毎年50億ユーロ（59億ドル＝約7000億円）の税収を得ることができる。「4人の閣僚は、『欧州でこの税制が適用されるように推進し、全員にこの連帯の努力に参加するよう求めている』と述べた」とのこと。これまでの国の財政確保のための税制から、地球規模課題対策のためという国際連帯税的要素を持った税制として、金融取引税を導入しようとしているようだ。

●「ワン・プラネット・サミット」は、フランス、国際連合、世界銀行の共催で、国連気候変動枠組条約（UNFCCC）、ウィ・ミーン・ビジネス、気候エネルギー首長誓約、ヨーロッパ委員会、C40世界大都市気候先導グループ、経済開発協力機構（OECD）、ブルームバーグ・フィランソロピーズの協力、そして参加国は100か国超という大掛かりなもの。

●ところで、我が国は＜地球規模の最重要課題である＞気候変動の分野では残念ながらさっぱりイニシアティブを発揮できてませんね。歴史的な気候変動枠組条約・COP3を開催した国なのに！

【日経新聞】仏、気候変動対策をけん引 日本も学ぶべき点多く

...今日、フランスは気候変動対策における世界のリーダーといってよいだろう。気候変動対策に明確な方向性を打ち出せないでいるわが国が、学ぶべき点は多い。

2017 年 12 月 13 日

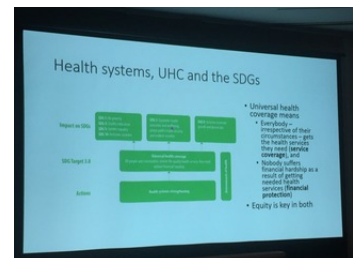
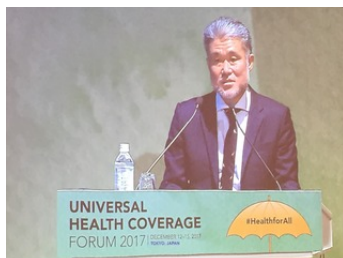
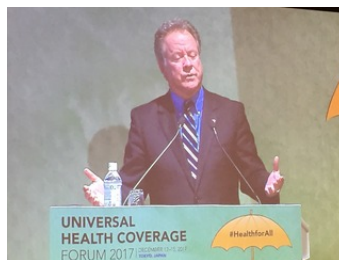
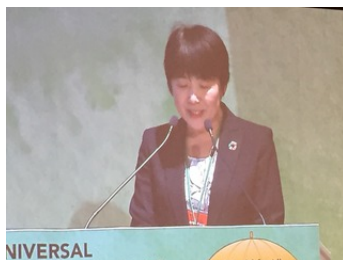
UHC フォーラム始まる

12 月 12 日は UHC（ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ）デーだった。この日を記念して、UHC フォーラムが 12 月 13 日～14 日、日本で開かれ、霞が関の魔法使いどーらと小鳥が会合に出席している。会議には、各国政府の要人、国際機関の幹部など豪華な VIP が多数出席している。冒頭、加藤勝信厚生労働大臣から、UHC の実現には、ただ健康問題を解決するだけでなく、社会・経済的な面から包括的に改善を図ることが重要だということが提唱された。

また、WHO の ADG（UHC 担当）に就任された山本尚子先生は、プライマリーヘルスケアの重要性を提唱した 1978 年のアルマータ宣言から、来年で 40 周年を迎えることを挙げて、全世界における UHC の促進を図ることを訴えられていた。JICA の戸田孝夫上級審議役は、加藤大臣の話に賛同されたうえで、日本の知見を活かして UHC を実現するために JICA が一生懸命プロジェクトを実施していくという力強いお言葉をいただいた。この後は、より細かいテーマに沿って、議論がなされた。

健康安全保障の改善に向けたディスカッションでは、WHO から、ヘルスシステムの改善が保健分野に触れている SDGs3 のみに影響するのではなく、貧困削減や経済成長、ひいては教育の改善にまで寄与することが紹介された。その一方、東アジアやアメリカでは、UHC が実現しているのに対し、サブサハラ・アフリカでは依然として半分以上の人が基礎的な医療サービスを受けることができず、格差の拡大が課題であることが紹介された。また、貧しい人ほど、家庭の総支出に占める医療費の割合が高いことも問題とされている。

このほか、ファイナンスのセッションでは、フィリピン、ラオスなど各国の UHC の実現に向けた取り組みが紹介された。酒やたばこ、砂糖など、健康に影響を与える物品に対し、課税をし、それを保健分野に充てるといった面白い取り組みもあった。地方分権もすべての人が適切な保健サービスを受けるのには大きな役割を果たしているようだ。





【被災した子どもの養育相談支援事業『こどもの気持ち学習会』開催のお知らせ】

釜石市保健福祉部子ども課委託事業 被災した子どもの養育相談支援事業

『こどもの気持ち学習会』の開催予定。

《日時》

2017年12月16日（土）10時～12時

2018年2月10日（土）10時～12時

《場所》

釜石市釜石地区生活応援センター・釜石公民館（青葉ビル）

釜石市大町3丁目8-3

《講師》

国立大学法人 岩手大学 三陸復興・地域創生推進機構 特任准教授 佐々木 誠 氏

《テーマ》

『喪失』

喪失は『大切な人や、生きる支えになるような物事を失うこと』。喪失を経験した子どもの心を知ることで喪失を経験した子どもに寄り添うことができる。

《第1回》

喪失を学び、喪失を経験した子どもの心への理解を深めていく。

《第2回》

喪失を経験した子どもの心を理解した上で、子どもへの添い方を学んでいく。子どもの視点で、喪失にフォーカスした学習会となっている。



こどもの気持ち学習会

【日 時】 第1回：2017年12月16日（土）10時～12時

第2回：2018年2月10日（土）10時～12時

※第1回、第2回以外の受講も可能です。

【講 師】 （大）岩手大学
三陸復興・地域創生推進機構 釜石サテライト
佐々木 誠 特任准教授（臨床心理士）

【場 所】 青葉ビル（釜石市大町3丁目8-3）研修室

【対 象】 子どもの保護者、ご家族、支援者

【参加費】 無料

【申し込み】 電話通りこどもの相談室（釜石市大町3丁目8-3青葉ビル1階）

☎：070-2023-2988（平日 9時～17時）

✉：tomoyuki.waga@result.jp.org

※：開催日5日前までにお申し込みください。

※定員ご希望の方はお申込みの際にお知らせください。

今週末のセミナー紹介

今週末に予定されている2つセミナーのご紹介。

1 つは、土曜日に霞が関の弁護士会館で開催される、『家事法制シンポジウム「子の福祉のための面会交流～面会交流支援団体の実情から考える～」』。

昨今は、高葛藤な場合でも、どちらかという面会交流を実施させる流れになってきていると感じる。そのような中で、面会交流のノウハウがまだ蓄積・整理されてなく、面会交流支援団体も少ないのが現状だ。

2 つ目は、日曜にTKP神田駅前ビジネスセンターで開催される、『親子ネット講演会 共同養育実現のために必要なこと ～他国事例に学ぶ制度設計～』。

離婚後の子どもの養育について、制度がまだ整っていないのが日本。他国を参考にして、日本の社会は何をするべきかを考えるきっかけになるかと思う。子どもにとっても、離婚による悪影響がより少ない制度になってくれることを願っている。

【被災した子どもの養育相談支援事業『こころの相談会』『弁護士相談会』開催のお知らせ】

釜石市保健福祉部子ども課委託事業 被災した子どもの養育相談支援事業

『こころの相談会』『弁護士相談会』の開催予定。

《日時》

2017年12月20日（水）18時～20時

2018年2月21日（水）18時～20時

《場所》

釜石市釜石地区生活応援センター・釜石公民館（青葉ビル）

釜石市大町3丁目8-3

《対応者》

国立大学法人 岩手大学 三陸復興・地域創生推進機構 特任准教授 佐々木 誠 氏

『弁護士相談会』

《日時》

2018年1月13日（土）14時～16時

《場所》

釜石市釜石地区生活応援センター・釜石公民館（青葉ビル）

釜石市大町3丁目8-3

《対応者》

釜石ひまわり基金法律事務所 弁護士 多田 創一 氏

子育ての不安、いじめ、家庭環境などでお悩みの方

子どもに関する法律的な問題でお悩みの方

何を話したらよいか不安な方など

お気軽にお問い合わせください。

あなたの気持ち、話してみませんか



こころの相談会（子育ての不安、いじめ、家庭環境などについて）

日 時： 2017年12月20日（水） 18時～20時
2018年 2月21日（水） 18時～20時

弁護士相談会（子どもに関する法律相談）

日 時： 2018年 1月13日（土） 14時～16時

日 時： 青葉ビル（釜石市大町3丁目8-3） 活動室迄

日 時： 19歳までの方とその他家族

日 時： 1組30分（予約制）

日 時： 無料

日 時： 青葉通りこどもの相談室（釜石市大町3丁目8-3青葉ビル1階）

電：070-2023-2988（平日 9時～17時）

電：tomoyuki.waga@resu.jp.org

※：開催日5日前までにご予約ください。

※：先着でご希望の方はご予約の順にお知らせください。

2017 年 12 月 14 日

KANGEMI 結核検査所の建て替え工事

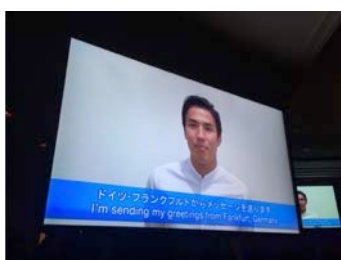
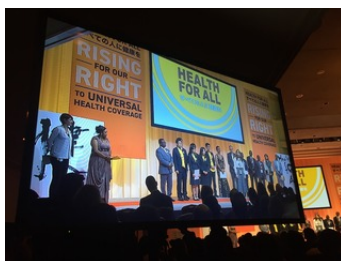
結核検査所の建て替え工事の細かな打合せを行った。既設の建物と、これから建設する建物のスペースを図面を基に測量をして、細かな確認をした。

Results スタッフ KANGEMI スタッフ、Citorolam（建設会社）全員で確認をした。基準位置、工事通路の確保、作業スペース確定、工事車両スペース確保、工事電源の確認等建設工事に必要な内容説明と図面確認をした。



UHC フォーラムパブリックイベント

ただ今、UHC フォーラムパブリックイベントが開かれ、会場は大盛り上がり。



MORE CHV ORIENTED LESSONS TO BE INCLUDED IN THE TRAINING PACKAGE

In a bid to bring a much more focused team, it is imperative that we have lessons that focus on such facts. Together with Dr. Asma, I am in the process of preparing lessons that will be incorporated into the training, and have the CHV know exactly the roles required of them.

The new lessons will cover the following aspects of their work:

1. The TB-HIV correlation, treatment, and care
2. Stigma and discrimination
3. Infection control and prevention
4. Role of CHVs in a community health system
5. Tracing of defaulters
6. Recording, monitoring, and reporting
7. Epidemiology and Nutrition of patients with TB

With the support of the experienced medical personnel, it is my hope that these will be beneficial, and will encourage us to have a more vibrant, and knowledgeable CHV group for the anti-TB campaigns.

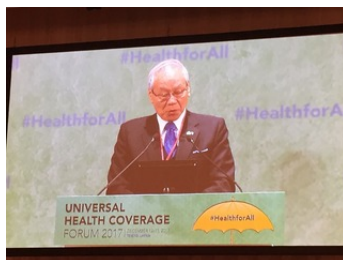
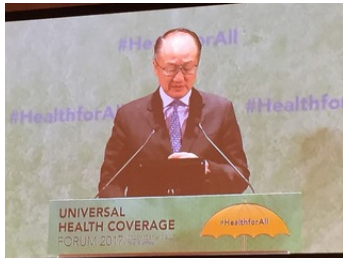
UHC フォーラム（2日目）

2 日目はハイレベル会合。アントニオ・グテーレス国連事務総長やジム・キム世界銀行総裁、テドロス WHO 事務局長、アントニー・レイク UNICEF 事務局長など、豪華なゲストが登場した。冒頭、安倍首相から日本がこれまで UHC の推進に寄与してきた経緯が述べられたうえで、総額 29 億ドルの拠出を UHC に対して行うことが発表された。また、今後、日本で栄養サミットを開催することも合わせて発表された。

日本リザルツも UHC と栄養改善に向けて頑張っているので、嬉しいニュースになった。また、グテーレス国連事務局長は”Health for All”と強調したうえで、2019 年の国連ハイレベル会合では UHC を議論することが紹介された。世界医師会の横倉会長のあいさつの中では、世界医師会も UHC の実現に向け、高齢化が世界で進む中、日本の皆保険制度などの知見を活かすことの重要性が示されていた。

UHC の実現には、今後の人口動態を予見し、対応する必要がある。塩崎前厚生労働大臣は、ご自身の 3 年にわたる大臣としての経験をもとに、日本の経験を紹介。人口動態や、国の未来を予測して、医療政策を実施することの必要性を強調されていた。今日はより政策的な面から、大きな目線で議論が繰り広げられた。最後に UHC の実現に向けて各国が強靱なヘルスシステムの構築に向けて努力することなどを盛り込んだ東京宣言が出された。

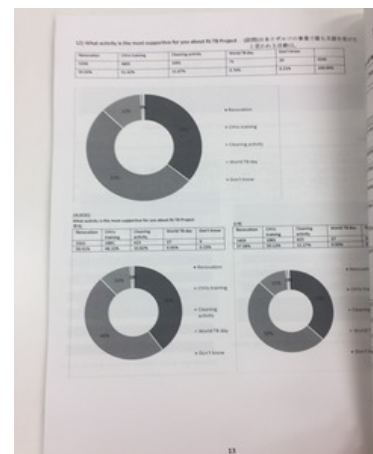


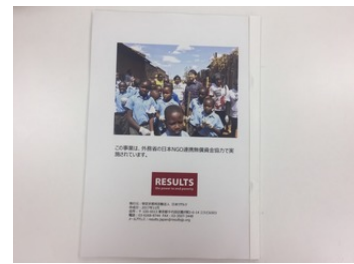
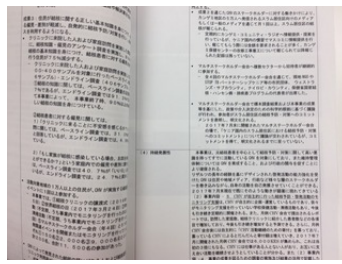


2017 年 12 月 15 日

ケニア事業完了報告書の完成

日本リザルツが実施している「ナイロビ市のスラム居住区におけるコミュニティ主導の結核予防・啓発活動の拡大支援事業」の完了報告書が製本化された。この事業は、外務省の日本NGO連携無償資金協力で行われており、在ケニア日本大使館のみなさまはじめ、関係者の方には大変お世話になった。





30 年度税制改正大綱：国際連帯税盛り込まれず>6 年連続

政府・与党は昨日、平成 30 年度の税制改正大綱を決定したが、国際連帯税については今回も盛り込まれません。これで、政権が交代した 25 年度大綱から 6 年連続して国際連帯税の文言が外されたことになる。ただし、国際連帯税に繋がる関連部分として（*）、毎年のことだが、次のような記述がなされている。「また、わが国の経済社会の変化や国際的な取組の進展状況等を踏まえつつ、担税力に応じた新たな課題について検討を進めていく」（第一 平成 30 年度税制改正の基本的考え方）。



国際連帯税をとりまく今年の税制改正の動きの特徴としては、何といたっても今夏突然浮上した「出国税」（国際観光旅客税）だ。当初、8 月末に財務省に提出された国交省からの税制新設要望もきわめて抽象的な内容であり、またある自民党税調メンバーも「自民党内で全然議論していない、税制調査会でもめるのではないか」と言っていた。しかし、この出国税導入の背景には、「観光族・菅官房長官」の強力なイニシアティブがあり、結局自民党税調も与党税調もほとんど議論がなく決定してしまったようだ。この動きにつき、14 日付日経新聞・電子版が詳しく報じている。

【日経新聞】出国税、観光族・菅氏が剛腕発揮 政治空白に一気に決定

ところで、この間述べてきましたように、出国税と航空券連帯税とでは徴税ポイントが航空機の出国時というように一緒なので、観光資源確保のための出国税が先に決まってしまうと、連帯税としての税制導入は一段と厳しくなることが予想される。

こういう経過から、グローバル連帯税フォーラムとしては、全国会議員へのニュース・レターの配布、そして宣伝有力国会議員への働きかけを行ってきた（その一端として、日本リザルツ代表・白須紀子さんとともに公明党井上幹事長ほかへの働きかけを行いました、下記ファイルを参照ください）。また、国際連帯税創設を求める議員連盟と連携して、とくに衛藤征士郎会長には自民党幹部への働きかけをお願いしてきた。

●与党税調での国際連帯税の扱い：中長期的課題か？

上記のように国際連帯税（外務省の要望は「国際連帯税（国際貢献税）」）は大綱に盛り込まれなかったが、与党税調では“漏れ伝わるころによれば”「中長期的課題」扱いとなったようだ。実は、前々年度に（2012 年の）政権交代以後はじめて「中長期的課題」になったようだが、前年度にはまた「×」にされてしまったようだ。とするならば、今年度は何とか盛り返したと言うことができる。もとより連帯税実現の道はいぜんとして厳しいことには違いないが…。

●航空業界・国交省の反対論破産、連帯税導入の韓国、フランスでは

さて、今後の展望だが、まず次のことが言える。皮肉なことに出国税が決まったことにより、これまでの航空業界・国交省の航空券連帯税反対の論拠が崩れてしまったことで、この点私たちの主張は通りやすくなった。業界団体である定期航空協会は平成 30 年度税制改正要望として、わざわざ航空券連帯税反対を主張し、「本税（注：国際連帯税のこと）は、外国人旅行者に新たな金銭的負担課することになるため、こうした（注：観光先進国としての）取組みに逆行することとなります」、と。つまり、税導入により外国人観光客の金銭的負担が増すから旅行者減少が予想されるので反対だと言っている。では、出国税の場合でも金銭的負担が増すのだから、業界としては反対となるはずだが、この点についてはまったく反対を言っていない。従って、金銭的負担増＝旅行者減少という論拠が崩れてしまっていることを自ら認めたものと言えるであろう。当然、業界と一緒にあって連帯税に反対してきた国交省の、とくに航空局の言い分も崩れてしまったのだ。

ところで、航空券連帯税を導入している国ではいわゆる空港税はどうなっているのか？ 並びに連帯税を入れていない英国や日本は？

◎韓国：出国税（出国納付金）10000 ウォン、国際連帯税（国際貧困退治寄与金）1000 ウォン、旅客サービス料 28000 ウォン 合計 39000 ウォン（約 4030 円）

◎フランス：国際連帯税 560 円、民間空港税 990 円、空港税 1560 円、旅客サービス料 3410 円 合計 6520 円（パリ CDG 空港→成田空港 エコノミー席の場合）

◎英国：旅客サービス料 6140 円、航空旅客税 11500 円 合計 17640 円（英 LHR 空港→成田空港 エコノミー席の場合）

◎日本（成田空港）：旅客サービス施設使用料 2090 円、旅客保安サービス料 520 円 合計 2610 円

以上のように、日本で今後出国税を導入したとしても、いわゆる空港税は韓国より 1000 円、フランスより 4000 円弱、英国より 12000 円も安いことになり、もうワンステップ航空券連帯税を導入する余地は十分あると言えるだろう。そしてこの連帯税による SDGs 達成のための資金調達には国民的支持を得ることも十分可能だと言える。

以上から、グローバル連帯税フォーラムは引き続き航空券連帯税ほか、SDGs 達成のための第二の公的資金としてのグローバル連帯税実現のため頑張っていきたいと思っている。

（＊）国際連帯税に繋がる関連部分について：

平成 26 年度税制改正大綱では、「（税制抜本改革法）においても示されているこうした課題について検討を進め、所要の措置を講ずる。また、今後、内外の社会情勢の変化を踏まえつつ、担税力に応じた新たな課税について検討を進める」と記述されたが、この税制抜本改革法が連帯税に繋がる根拠だ。つまり、この「税制抜本改革法」（2012 年 8 月国会で成立）では、その第 7 条の 7 で「国際連帯税について国際的な取組の進展状況を踏まえつつ、検討すること」と謳っている。だから、「こうした課題について検討を進め、所要の措置を講ずる」という中に国際連帯税も含まれることになる。

注）「税制抜本改革法」の正式名は「社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための消費税法の一部を改正する等の法律」。

◆上の写真は、南アフリカでの HIV 予防プロジェクトがはじまったことを知らせる [ユニットエイド・ジャパンのフェイスブック](#) より。ユニットエイドは主に各国の航空券連帯税による資金で賄われている。

2017 年 12 月 16 日

気候・環境だけではない地球的課題

地球温暖化対策の国際的枠組み「パリ協定」から 2 年目の 12 日、協定推進への結束を確認する

ための首脳級会議「ワン・プラネット・サミット」がパリ郊外で開かれた。対策資金の確保に

向けた官民協力が主要テーマとなっており、フランスのマクロン大統領の呼びかけで、フランス、

国連、世界銀行が共催している。日本の河野太郎外相も「全ての政策を動員し、気候資金の規模拡大へ世界をリードする」と協力を確約した。パリ協定を巡っては、トランプ大統領の離脱宣言があったが、米国の多くの自治体、企業が会議に代表団を派遣、約 100 カ国の首脳・閣僚が出席した。



この中で注目されたのが、世界銀行が「石油や天然ガス事業への資金提供を 2019 年に打ち切る」と発表したことである。会合に出席した世銀のキム総裁は、「世界の変化に合わせて、世銀も変わる」と強調され、再生エネルギーへの移行を促す狙いがあると思われる。金融保険大手のアクサも 2015 年に環境保護等に向け 30 億ユーロの投資を表明し、今回追加の目標設定を明らかにした。

上記は地球環境に向けた、各国首脳・閣僚級が集まった国際的な会議の記事を、一部抜粋したものである。気候変動、環境保護に対する国、国際機関や企業ではこれまで様々な対策、活動を行っている。保健・医療分野でもそのような動きが続けているが、感染症など途上国の課題、困窮を先進国が支援する形で、世界全体の課題として取り上げられていないことが、却ってネックになっているかも知れない。

2017 年 12 月 17 日

Global Fund からの支援

世界の三大感染症と言われるエイズ、結核、マラリアの対策（予防、治療、感染者支援、保健

システム強化）として、100 以上の国、地域に資金を提供している“グローバルファンド”が、

ケニアに対する支援として今後 4 年間で 380 億ケニアシリングを供与するとの発表があった。

グローバルファンドの概要はこちらから：

<http://fgfj.jcie.or.jp/global-fund>

内訳は 320 億がエイズと結核、残りがマラリアに向けられる。グローバルファンドから提供を受けるアフリカ諸国の中では最大の規模で、今年の 5 月にケニア政府から資金申請を受け、グローバルファンドの Technical Review Panel で審査、承認後正式に資金提供が確定した。グローバルファンドからケニアへの資金提供は、2012 以降累計で 1,000 億シリングに達する。またケニア国内からは今後 2 年間で 767 億シリングが拠出されるとのこと。



因みに、United Nations Programme によると、HIV/AIDS の死亡者は 2005 年の 190 万人から昨年 2016 年には 100 万人に減少している。

我々が実施しているスラム居住区での結核予防・啓発活動とグローバルファンドの資金が上手く結び付き、効果的な予防となるよう期待したい。

UHC フォーラム閉会

12 月 12 日の UHC デーに合わせて開かれた UHC フォーラムが終了した。

会議の様子はメディアでも取り上げられた。保健医療支援へ 3300 億円＝安倍首相（時事通信）



安倍晋三首相は 14 日午前、東京都内で開かれた国際会議「UHC（ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ）フォーラム 2017」に出席し、世界の保健医療水準の底上げを図るため、日本政府として世界銀行などを通じ、約 29 億ドル（約 3300 億円）規模の支援を行うと表明した。各種ワクチンの提供や人材育成などで貢献する方針だ。

首相は、2023 年までの目標として、(1) 基礎的な保健サービスを受けられる人を全世界で 10 億人増やす (2) 医療費負担のため貧困に陥る人を年 5000 万人削減することを提唱。栄養不良対策などを話し合う国際会議を 20 年に東京で開催する方針も明らかにした。

この会議では、「UHC 東京宣言」が取りまとめられた。宣言では、UHC の達成が、所得再分配を通じて貧困の改善や社会の公平性の確保につながり、ひいては世界各国の平和と繁栄に貢献するものであるとともに、健康危機への備えの強化にも資することが強調されている。

UHC 東京宣言のリンク <http://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000317579.pdf>

「UHC フォーラム 2017」の開催（外務省）http://www.mofa.go.jp/mofaj/ic/ghp/page11_000064.html
またフォーラムに先駆け、麻生財務大臣は 12 月 2 日付のランセット誌に、「UHC（ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ）達成のため財務省が果たす重要な役割」と題する論文を寄稿している。麻生財務大臣は論文の中で、援助国の国内資金や外的な援助資金の活用に加え、「長期にわたり持続可能な保険財政の枠組み構築に各国の財務省が重要な役割を果たすべき」と提言している。会議を通じて世界が丸となって、UHC の実現を目指すとともに、今後、日本の国際保健分野におけるリーダーシップがますます発揮されるといい。



ONE CHV SUCCUNBS TO HIGH BLOOD PRESSURE

The CHV community is saddened to reveal the death of one of their members, **Elizabeth Waigwa Waweru**.

She dies today, 19th December 2017, after ailing for a long time from **High Blood Pressure**. Ms. Elizabeth was one of the mature CHV who was from Kangemi central, and has been involved in a number of Cmmunity volunteer work for the last 15 years. She is survived by a five children, and her husband.

Communication on burial arrangements will be done later since the preparations are underway.

May she rest in peace.



2017 年 12 月 21 日

CHV の新入生

新しく育成する CHV の研修が昨日から始まり、今日は最初のユニット 25 名の二日目で、昨日の復習からスタートした。一人が前に出て全員が起立、前に出た人が一人一人質問し答えた人は座るやり方であった。また、今日の研修の最後の方では伝言ゲームが行われ、最初に伝えた内容が最後に戻った時の内容と、どのように違っているかを楽しむゲームで、言葉は理解出来なかったが、みんなの笑いから期待通りの結果であったらしい。これは何の目的でやっているのか聞いて見たら、communication を図るためと、講師から回答があった。講義の途中では、体をほぐすために歌を交えながら様々な格好をするのを見ると滑稽に思えたが、却ってこの方が心身共にリラックスするような気がした。



単に話を聞く講義だけでなく、途中途中に変化を付け飽きないように、楽しむ雰囲気も作りながら研修プログラムを考えていると思う。全体的にはみな真剣に聞き入っていた感じで、少なくとも 7 名ほどは活発に発言をしていた。彼らが 1 年後どのように変わってしてくれるか、楽しみである。

2017 年 12 月 22 日

ケニア向け靴

ケニアに送る靴は、絶える事無く毎日届いている。リザルツの会議室は写真の様に半分、靴で埋まっている。全国のあちこちの団体から大量に靴をお送り頂ける話があるが、今のところ受入体制ができていないので、年が明けたら現在の靴の山をケニアに送ってからお願いすることになる。



【児童にとっての現実（リアル）】

釜石は明日から冬休み。学期末の面談などで短縮授業ということもあり、午後になると相談室は近隣小学校児童であふれる。児童から私に、親しく話しかけてくれる機会が増え、自然と、家族のことを話してくれることも多くなってきた。さり気ない会話の中には時折

『僕のお母さんは、怒ったら怖い！ちょっと〇〇しただけで、物を投げつけてくる！！』

『私のお母さんは、△△病院に通っている』『僕のお母さんは、ガリガリに痩せちゃってガイコツみたい』『私、早く帰っても、家に誰もいないんだ』 などなど、大人が聞くと、マイナスにイメージしてしまう会話も出てくる。ですが、それを話す児童の表情には暗さがありません。

なぜでしょう・・・その児童には、現在の生活環境が『児童にとっての現実（リアル）』なんだと、会話の端々から受けて取れる。また、来室児童の中には、顔を見ただけでは分らないが、衣服に隠れた身体部分が通常よりも痩せている児童も存在する。このように『みえない問題』は、ここ釜石でも未だ潜在する。それに対し、私自身、何ができるのか・・・大きなテーマだ。



ストップ結核パートナーシップ理事会、総会

12 月 22 日に結核予防会の 5 階会議室に於いてストップ結核パートナーシップの理事会、総会が開かれ、リザルツの白須代表も、田中代表理事、森代表理事と共に出席した。理事会、総会は 29 年の事業報告等があり、恙無く終了した。

2017 年 12 月 24 日

子どもたちへの保健政策

最近の子供たちの健康、保健政策に関する当地メディアの報道を紹介する。

1. 世界的な子どもの糖尿病が年間 3-5%増加している。(WHO)

これらの数字は病院や地域医療センターを通じ、早急に公衆に周知させることを政府に働きかけることを示している。ケニアの Aga Khan University Hospital の Dr.Joyce Mbogo によると、

- 同長官は、政府、民間並びに他のステークホルダーが、戦略的なパートナーシップを構築し、5歳以下の子供たちの肺炎に取り組んでいくと語っている。また、SDGsにも関わる新生児の死亡減少への協力も呼びかけている。

The first batch of trained CHVs will commence their work immediately after the short break for the Christmas Holidays. Effectively, they will be working in the community from January. Lilian Nyokabi will be in charge of their supervision, and in that line, she will demand a monthly report from them to gauge their performance. Further, we noted that the work they do must be reflected in the statistics in the laboratory, the drug intake, as well as the discovery of patients from the villages in Kangemi, and referring them to the facility for testing and treatment. The rest of the training will be carried out next year.

日本政府の来年度の予算案が 22 日閣議決定された。来年度予算案 財政の先行き一段と不透明に
(NHK、抜粋)

来年度予算案は、高齢化で社会保障費が膨らみ、6年連続で過去最大になった。保育所の整備を上積みし、子育て世帯への支援を追加したことで歳出の拡大が一層進んだ。逆に歳出の削減は限られ、診療報酬の見直しで「薬価」の部分は引き下げたものの、防衛費や公共事業など多くの項目で予算は増加した。さらに、再来年、消費税率を引き上げる際、赤字を減らすために使うはずだった税収を教育の無償化などに回すことを決め、2020年度の財政健全化の目標達成も断念している。

来年度予算案は、財政規律が緩んだと言わざるをえない内容だ。2025年には団塊の世代がすべて75歳以上になり、社会保障費がさらに急増する。財政をどうやって健全化していくのか、政府は、はっきりとした説明を避け、積み上がる借金に目をつぶっている。それが、若い世代に

将来への不安をもたらしているのは間違いなく、政府は、来年の夏までに、財政健全化の新しい計画を示すとしている。

誰一人取り残さない社会を目指すために、日本政府には是非とも効果的な財政運用をしていただきたい。

[ニュース]パレスチナの抗議デモ 死者 11 人に

パレスチナ情勢は依然として不安定な状況が続いている。

パレスチナ人の抗議デモ、死者 11 人に。パレスチナ自治区ガザの保健当局は 23 日、トランプ米大統領がエルサレムをイスラエルの首都と認定したことに対する 17 日の抗議デモで、イスラエル軍の銃撃を受けて負傷した男性 1 人が死亡したと明らかにした。同軍の銃撃やガザへの空爆による死者はこれで計 11 人になった。トランプ氏が 6 日に「首都認定」を発表して以降、抗議デモはエルサレムやパレスチナ自治区などで断続的に行われ、イスラエル軍との衝突が激化している。(共同)

早く情勢が安定し、パレスチナ難民が平和で健やかな毎日を過ごすことができる日が来ることを願ってやまない。日本にもリーダーシップを発揮していただきたい。

2017 年 12 月 26 日

LAMP 法講習会

本日は 栄研化学の渡辺課長と小岩井氏による LAMP 法の講習会がリザルツ会議室で行われた。



参加者全員が検査法について熱心に質問していた。



ケニアの結核検査所に導入

されるこの検査法により、従来のレントゲン検査では判断できなかった病気がより正確に分かるようになる。今後の課題は、検査所に来てくれる人をどう増やしていくか、又は治験の検体を離れた場所から運んでくるのにアイスボックスを利用すれば良い。との意見が出された。



大塚製薬が第 1 回日本医療研究開発大賞を受賞

日本リザルツは結核対策に力を入れている。今日は嬉しいニュースが届いた。

大塚製薬が、多剤耐性肺結核治療薬デラマニドの開発において、第 1 回日本医療研究開発大賞 健康・医療戦略担当大臣賞を受賞された。この賞は、日本のみならず世界の医療の発展に向けて、

医療分野の研究開発の推進に多大な貢献をした事例に関して送られるものだ。既存の結核治療薬では治療が困難であった多剤耐性結核菌に対して有効なデラマニドと呼ばれる新薬を開発し、世界の結核・感染症対策に多大な貢献を果たしたとして、大塚製薬にこの賞が授与された。

大塚製薬のニュースリリースはこちら

https://www.otsuka.co.jp/company/newsreleases/2017/20171214_1.html

内閣官房のプレスリリースはこちら

https://www.kantei.go.jp/jp/singi/kenkouiryousuisin/pdf/h29_iryoudenkyu_taishou.pdf

2017 年 12 月 27 日

【平成 29 年度岩手県ひとり親家庭支援者等養成研修『岩手県ひとり親家庭支援者養成講座』】

平成 29 年度岩手県ひとり親家庭支援者等養成研修『岩手県ひとり親家庭支援者養成講座』へ参加した。

『平成 28 年度全国ひとり親世帯等調査結果（厚生労働省）』のデータが多くピックアップされており、現在のひとり親家庭を取り巻く環境および実態を把握することができた。ひとり親家庭になった理由としては、母子世帯の 79.5%が離婚、8.0%が死別であったのに対し、父子世帯では、75.6%が離婚、19.0%が死別であり、母子世帯、父子世帯ともに近似した傾向であった。しかし、経済面になると、平均年間就労収入が父子世帯 398 万円に対し、母子世帯 200 万円と大きな差が生じていた。これは、日本の就労および勤務形態における男女格差が依然根深いものであり、この経済格差が『子どもの貧困』に繋がっていることが容易に想像できるデータだ。

研修内容の詳細はお伝えできないが、『平成 28 年度全国ひとり親世帯等調査結果（厚生労働省）』は、ひとり親家庭や子どもの貧困等の現代社会に根付く問題を投影していることを示唆しているデータといえる。

これを基に、我々が社会に対し、どのようなアプローチができるのか。私自身の心に一石を投じる、貴重な研修会であった。



第一回ジャパン SDGs アワード

国連が掲げる「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向けた優れた取り組みを表彰する「ジャパンSDGsアワード」の第1回表彰式が26日、首相官邸で行われ、北海道下川町に初の総理大臣賞が贈られた。時事通信のニュースはこちらを参照。

<https://www.jiji.com/jc/article?k=2017122600215&g=pol>

首相官邸のHPはこちらを参照。

http://www.kantei.go.jp/jp/98_abe/actions/201712/26sdgs_award.html

特別賞には江東区立八名川小学校が選ばれた。日本リザルツも応募しましたが、残念ながら...選ばれませんでした。

【クリスマスプレゼント】

県外在住の方から（福）釜石市社会福祉協議会を通じて、釜石市児童へクリスマスプレゼントの寄付があり、青葉通りこどもの相談室でも配布してほしいとのことで、来室児童へプレゼントさせていただいた。

男子と女子の2種類、各10個ずつ計20個。クリスマスカラーが鮮やか。

先着ではありましたが、来室された児童のみなさんで、あっという間になくなってしまった。

プレゼントをもらった児童が、照れくさそうに破顔一笑する姿がとても素敵な相談室のクリスマスであった。

